



広島大学

環境共生スマート材料研究拠点

講演会

—光化学の新展開—



奈良先端科学技術大学院大学（NAIST）のお二人の著名な先生からご講演いただくことになりました。多数のご参加を歓迎します。

プログラム：

15:00-16:00 水野一彦 先生

「フローマイクロリアクターを用いる光化学反応」

21世紀に入ってフローマイクロ科学が飛躍的に進歩してきたが、有機光化学もその時流に乗って多くの成果を上げてきた。本講演では、これまで我々が行ってきたエキシプレックスを経由する分子間および分子内光環化付加反応、電子移動を経由する光酸素酸化反応、有機ケイ素化合物を用いる光アリル化反応などを例にして、フローマイクロ光化学反応の特性を述べるとともに興味深いいくつかの反応例を紹介する。

16:00-17:00 垣内喜代三 先生

「チオクロモン型光解離性保護基の開発とケージド化合物への展開」

我々が独自に開発したチオクロモン光解離性保護基は、優れた光解離能を有するだけでなく、アルコール、アミン、カルボン酸、リン酸、ケトン類に適用可能で、硫黄元素の酸化状態で光解離能をスイッチングできる特性を有している。特に、チオクロモン光解離性保護基が光解離反応によって、極めて高い蛍光発光性を示す化合物に変換されることが、他のものとは異なる特長となっている。この特長を活かして、生理現象の解明に有効なツールとなっている、ケージド化合物に応用した展開について併せて述べる。

場所： 広島大学東広島キャンパス

中央図書館ライブラリーホール

日時： 2017年8月2日（水）15:00から

連絡先： 広島大学大学院工学研究科 大下 浄治
jo@hiroshima-u.ac.jp